

「暮らし」分野

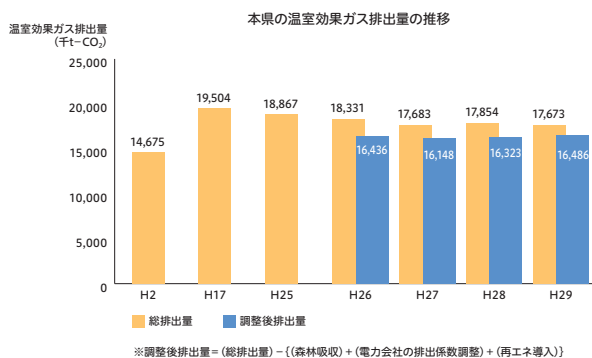
政策
4

環境と調和・共生する県づくり

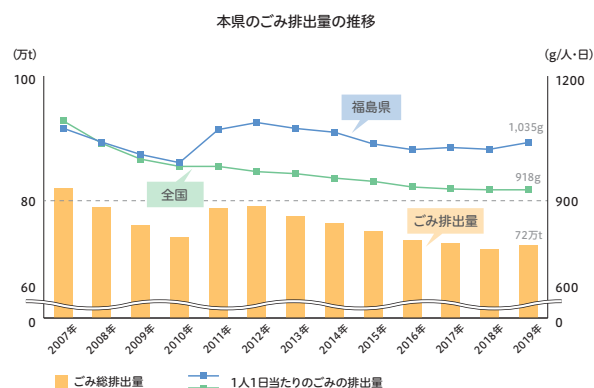
近年、地球規模での温暖化問題や海洋プラスチックごみ問題等が顕在化しており、脱炭素社会や循環型社会の実現に向けて、徹底した省エネルギー対策や再生可能エネルギー等の最大限の活用を図るとともに、廃棄物の排出抑制や再資源化等、環境負荷軽減につながるライフスタイルを推進する必要があります。

また、本県は、猪苗代湖や尾瀬を始めとした豊かな自然環境に恵まれており、自然資源の活用による交流人口の拡大を目的とした『ふくしまグリーン復興構想』に基づき、次世代への継承に向けて自然環境の保全や魅力の向上を図るとともに、自然との触れあいの場や学びの機会づくりなどの取組を進める必要があります。

さらに、動植物の保護管理について、希少種の動植物や傷病鳥獣の保護対策等を進めるとともに、イノシシ等の有害鳥獣による人的被害や農林漁業への被害を防ぐため、対策を強化する必要があります。



出典：県環境共生課調べ



出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査」



尾瀬国立公園



猪苗代湖における水環境保全活動

施策

1

豊かな自然や美しい景観の保護・保全

自然体験学習や自然公園の適正な利用等を通じて自然を大切に
する意識を醸成するほか、県土を保全する取組を通じて、本県が
持つ豊かな自然や美しい景観の保護・保全を推進していきます。



【主な取組】

①景観形成活動に関する取組

優良景観形成住民協定締結の取組などにより、住民参加による景観形成活動を推進します。また、市町村における良好な景観形成を進めるとともに、建築協定などのルールづくりなどにより、景観に配慮した住宅・建築物の建設などを促進します。

②自然公園等の保護と適正な利用を推進する取組

自然公園等の保護に努めるとともに、『ふくしまグリーン復興構想』に基づき、自然公園等の魅力向上に向けた取組を推進し、適正な利用を図ります。

③猪苗代湖を始めとする水環境保全に関する取組

生活排水対策のほか、工場・事業場の監視・指導による汚染物質の排出低減対策や水質汚濁の未然防止等により、水環境の保全を図ります。

また、猪苗代湖流域については、流域が一体となって、汚濁負荷の流入削減や水生植物の回収などの水質悪化防止対策を図ります。

施策

2

暮らしにおける地球温暖化対策の推進

電気自動車や太陽光発電などの導入促進、省エネ・省資源に関する
効果的な取組の普及、環境・エネルギー教育などを通じて、暮らしに
おける地球温暖化対策を推進していきます。



【主な取組】

①県民総ぐるみの地球温暖化対策に関する取組

県民、事業者、行政等あらゆる主体による環境保全活動の推進母体「地球にやさしい“ふくしま”県民会議」と連携し、地球温暖化対策に向けた全県的な機運の醸成を図り、県民総ぐるみで活動を進めます。

②環境に配慮したまちづくりに関する取組

ZEH や ZEB、建築物における県産材の利用、既存住宅の高断熱リフォーム等、環境にやさしい建築物を普及するほか、交通渋滞対策や街灯等の LED 化等を推進し、環境に配慮したまちづくりを進めます。

③気候変動への影響の適応に関する取組

気温の上昇による健康や農林水産物への直接的な影響、降水量の変化による災害や渇水といった間接的な影響など、今後起こることが予想される、気候変動による自然や社会への影響を的確に把握するとともに、各分野の適応策を推進します。

施策

3

環境にやさしい循環型社会づくり

ごみの減量化や再利用、リサイクルなど、環境に配慮したライフスタイルの推進を図り、循環型社会の実現を目指していきます。



【主な取組】

①ごみの減量化・再資源化に関する取組

市町村と連携し、食品廃棄物の排出抑制・減容化や、プラスチックごみの排出抑制・効率的な回収に取り組むなど、ごみの減量化やリサイクルを進めます。

②産業廃棄物の排出抑制、再生利用に関する取組

排出事業者等への排出抑制、再生利用に関する周知啓発を行うとともに、再生利用施設の整備支援などの取組を進めます。

③環境に配慮したライフスタイルの推進に関する取組

マイバッグ、マイボトル・マイカップの使用を始め、使い捨てプラスチック製品の削減に資する取組の啓発、資源化が可能なごみの分別や自転車、公共交通機関利用による通勤・通学への誘導など環境に配慮したライフスタイルの普及を推進します。

④環境と共生する農業に関する取組

堆肥などの有機性資源の循環利用を促進するとともに、有機農業など環境と共生する農業を推進します。

施策

4

野生動植物との共生

希少な動植物の保護など、生物多様性の保全を図るとともに、ICT技術等を活用した有害鳥獣の捕獲などの被害対策を実施することにより、野生動植物との共生を進めます。



【主な取組】

①生物多様性の保全に関する取組

生物多様性の重要性を普及啓発するとともに、野生動植物の生息・生育状況を継続的に調査し、希少種の保護対策を進めます。

②野生鳥獣の保護に関する取組

自然生態系の維持や生物多様性の保全上重要な役割を担っている野生鳥獣について、鳥獣の生息や繁殖の維持、促進のために鳥獣保護区を指定するとともに、傷病鳥獣の保護等の対策を進めます。

③野生鳥獣の被害対策の強化に関する取組

人の生命や生活環境に被害を及ぼす有害鳥獣に対して、ICT技術等を活用しながら効果的な捕獲を推進するほか、被害防除、生息環境管理等を含めた総合的な対策を図ります。



尾瀬ガイドによる自然体験



環境イベント「ふくしまゼロカーボン DAY！」の開催



マイボトル推進に向けた取組



野生生物共生センター（大玉村）での傷病鳥獣の保護

基本指標（成果指標）

< 政策 4 >

環境と調和・共生する県づくり

本県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られていると回答した県民の割合(意識調査)	< 現況値 > < 目標値 >	53.4% ※速報値 ↑ 82.0% 以上	(R3 年度) (R12 年度)
---	--------------------	---------------------------------	---------------------

< 施策 >

豊かな自然や美しい景観の保護・保全

自然公園の利用者数	< 現況値 > < 目標値 >	10,277 千人 ↑ 10,640 千人	(H30 年) (R12 年)
猪苗代湖の COD 値	< 現況値 > < 目標値 >	1.4mg/l ↓ 1.0 mg/l 以下	(R 元年度) (R12 年度)

暮らしにおける地球温暖化対策の推進

温室効果ガス排出量（2013 年度比）	< 現況値 > < 目標値 >	△ 19.2% ↓△ 50%	(H30 年度) (R12 年度)
---------------------	--------------------	--------------------------	----------------------

環境にやさしい循環型社会づくり

一般廃棄物の排出量（1 人 1 日当たり）	< 現況値 > < 目標値 >	1,035g/ 日 ↓ 全国平均値以下 (目標参考値 860g/日)	(R 元年度) (R12 年度)
一般廃棄物のリサイクル率	< 現況値 > < 目標値 >	12.7% ↑ 全国平均値以上 (目標参考値 17.5%)	(R 元年度) (R12 年度)
産業廃棄物の排出量	< 現況値 > < 目標値 >	7,722 千トン ↓ 7,600 千トン以下	(R 元年度) (R12 年度)
産業廃棄物の再生利用率	< 現況値 > < 目標値 >	54% 53% 以上	(R 元年度) (R12 年度)

野生動植物との共生

野生鳥獣による農作物の被害額	< 現況値 > < 目標値 >	179,326 千円 ↓ 90,000 千円	(R 元年度) (R12 年度)
----------------	--------------------	----------------------------------	---------------------

補完指標

(指標名)	(現況値)	(目標値)
◆「豊かな自然や美しい景観の保護・保全」関連		
・市街地等における無電柱化整備率	R2 年度 46%	R12 年度 57%
・自然体験学習等参加者数	R 元年度 1,476 人	R12 年度 2,200 人
・森林づくり意識醸成活動の参加者数	R 元年度 178,382 人	R12 年度 170,000 人
・汚水処理人口普及率	R 元年度 83.7%	R12 年度 97.4%
◆「暮らしにおける地球温暖化対策の推進」関連		
・日頃、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取組を行っていると感じた県民の割合（意識調査）	R3 年度 47.9% ※速報値	R12 年度 73.0% 以上
・省エネ改修による既存住宅の年間 CO2 排出削減量	R2 年度 277 t	R12 年度 1,000 t
・再エネ・省エネ技術の導入による県管理施設（県有建築物・道路・都市公園）の年間 CO2 排出削減量	R2 年度 836 t	R12 年度 2,654 t
・「福島議定書」事業（事業所版）参加団体数	R2 年度 1,640 事業所	R12 年度 11,000 事業所
・ // （学校版）参加団体数	R2 年度 329 校	R12 年度 1,000 校
・電気自動車等の登録台数	R2 年度 208,106 台	R12 年度 増加を 目指す
◆「環境にやさしい循環型社会づくり」関連		
・有機農業等の取組面積	R2 年度 2,957ha	R12 年度 6,000ha
◆「野生動植物との共生」関連		
・有害鳥獣捕獲頭数（イノシシ）	R2 年度 35,698 頭	R12 年度 25,000 頭 以上最大限
・ // （シカ）	R2 年度 2,353 頭	R12 年度 1,400 頭 以上最大限